

第5学年 外国語学習指導案

日時 令和元年10月11日(金) 公開授業②

児童 5年2組 男子12名 女子13名 計25名

場所 5年2組教室

指導者 田口 佳奈

1 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 (We can!① Unit 6)

2 主な言語材料

(1) 基本文

Where do you want to go? I want to go to (Italy).

Why? I want to [see / go to / visit] (the Colosseum).

I want to eat (pizza). I want to buy (olive oil).

You can eat / see / buy ~.

It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].

(2) 語句

国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, The UK, etc)

状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun, etc)

動作 (visit, buy, eat, drink, etc)

その他 (Where, coffee, country) [既出] 動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、児童に広く世界に目を向けさせ、「どこの国であるか」を考えながら聞き取りをすること、「おススメの国」を他者に伝えること、さらに自分が得た情報から「本当に行きたい国はどこか」について、その理由とともに伝えることを目標としている。

児童は今、総合的な学習の時間で「食から世界を見つめよう」という単元を平行して学習しており、世界の国々への関心が高まっている。本教材では、デジタル教材などを用いて世界遺産や世界の国々の食習慣などについて知ることができるので、より一層興味をもち、自分が行きたい国やその理由を伝え合う学習に主体的に取り組むことが期待できる。また友達の行きたい国を尋ねたり答えたりする活動を通して、児童は **want to** ~ (~がしたい) という思いを伝える表現に親しむことができる。

児童が主体的にコミュニケーションを図り、行きたい国の尋ね方や答え方、国名や状態・気持ち、行きたい理由の言い方に親しむとともに、自分が伝えたい表現を書き写すことに慣れ親しませる上で適した教材と考える。

(2) 児童について

児童は、これまでの単元を通して世界で活躍する日本人を知り、世界の様々な行事や子供たちの学校の様子、日常生活について学んできた。身近な生活体験に近いことを題材として扱う中で、英語が日常でたくさん使われていることに気付き、世界の国々への興味関心を高めてきた。

児童の多くは、知りたい事柄について友達に尋ねたり答えたりする活動に慣れ親しみ、友達の新しい一面を発見することや外国語での会話ができるようになることに楽しさを感じている。その一方で、自分から話しかけることに苦手意識をもったり、コミュニケーションを楽しめなかったりする児童も見られる。

書く活動では、大文字や小文字を用いた単語を書いたり、読んだりする学習に取り組んできた。大文字と小文字の区別が正確にできていない児童が見られるため、国名を書き写す活動では今まで以上に「形」「位置」「まとまり」に注意して書く必要がある。

(3) 指導にあたって

本単元の最終活動は「おススメの国を紹介しよう」クイズである。その活動に向けて次のように学習を展開していく。

「出会う」段階では、最終目標を提示し、児童に単元全体の見通しをもたせる。世界地図や国旗にふれながら、世界遺産、世界の料理などについて視聴する活動を通して、世界の国々への知識を広めるとともに、興味・関心をもたせる。また行きたい国を尋ねたり答えたりする表現と世界や地域の写真を描写する形容詞に出会わせる。さらに **you** を主語にしてその国では「こんなこと

ができる」ということをすすめる表現 can に触れる。

「慣れる」段階では、行きたい国とその理由について伝えるために want to~の表現に慣れ親しむ活動を取り入れる。また、eat~, see~, buy~の表現について段階的に慣れ親しませる。さらに、国名を書く活動を取り入れ、自分が行きたい国を書くことができるようにしていく。

「伝える」段階では、「おススメの国」クイズを最終活動として行う。国を当てる活動を通して、can~や want to~の表現を繰り返して耳にし、自分の発表の中で使えるようにしていく。単元全体を通して学んだ表現を使い、相手意識をもって行きたい国や地域について説明したり自分の考えを整理して伝え合ったりする活動を取り入れる。クイズを通して、世界の国々への知識や興味・関心を広めるとともに、紹介する友達についての新たな一面の発見にもつながるようにしたい。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・国名や行きたい場所、その理由について、聞いたり言ったりすることができる。また国名を書き写すことができる。 【知識及び技能】
- ・自分が行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 単元の評価規準と評価方法

観 点	内 容	方 法
知識及び技能	・国名や行きたい場所、その理由について、聞いたり言ったりすることができる。 ・国名を書き写すことができる。	行動観察 自己評価 相互評価 振り返りシート
思考力、判断力、表現力等	・自分が行きたい国や地域について理由も含めて伝え合っている。	
主体的に学習に取り組む態度	・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとしている。	

5 単元指導計画 (別紙)

6 本時の指導 (4/8時間)

(1) 目標

行きたい国や場所、見たいものを尋ねたり答えたりすることができる。 【知識及び技能】

(2) 研究との関わり

本時では、自分が行きたい国を紹介し合う活動を通して、その国で見たいものについて伝える。聞き手は、行きたい国とその国に行きたい理由(見たいもの)を尋ねる。その際、相手の行きたい国やその理由(見たいもの)を繰り返して言うことで、相手の話していることを確認しながら共感的に聞くことができるようにする。シェアリングタイムでは、活動を通して児童にとって難しかった表現を取り上げ、全体で慣れ親しむ活動を取り入れる。本時の活動を通して、様々な国の魅力を知る機会とし、「おススメの国」クイズづくりに繋げていく。

(3) 展開

時程	学習活動	指導者の活動	○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手立て
導入 10分	【Warm Up】 1 Greetings 2 Let's Sing 3 Review チェーンゲーム ・「I want to eat~.」 (グループ)	・明るく挨拶をする。 ・歌とダンスのめあてを確認する。 ・前時で学習した「食べたいもの」の表現の仕方を想起させる。	○グループでの挨拶を取り入れ、楽しい雰囲気をつくる。 ○はっきり発音することや友達とのふれあいを意識させる。 ○既習の表現を思い出させるために、全体で確認をする。 ○フィンガードリルを使って、I want to eat~.の表現に慣れ親しませる。

	4 Today's goal	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 行きたい国と見たいものを紹介しよう！ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国について紹介したいことの中から、本時では見たいものを紹介することを確認する。 ・既習の see の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時までの学習とのつながりをもたせて、本時のめあてをつかませる。 ○紹介をして、国のよさを知ってもらうことを確認する。
展開	【Main Activity】 5 Small Talk ・行きたい国や見たいものについて、担任に質問する。	<ul style="list-style-type: none"> ・HRT と児童でモデルを示す。 ・HRT と全体で表現の確認をする。 ・ペアで尋ね方、答え方を繰り返させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の表現が分かりやすいよう、ジェスチャーも入れながら楽しく対話を行う。
	6 Activity ・インタビュー ・シェアリングタイム	<ul style="list-style-type: none"> ・会話表現の確認をする。 ・会話表現で十分に親しんでいないものがあつたら、慣れ親しむ活動を取り入れる。 ・友達に関わる新たな気付きについて感想を交流させる。 ・児童の活動のよい点を伝える。 	
28分	7 Let's Read & Write <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">Brazil</div> ・スペルを唱えながら、書き写す。 ・書き終わったらペアでチェックする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「形」「位置」「まとまり」に気をつけて書くことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○机間指導をして、3つのポイントについて気を付けて書けているか確認する。
終末 7分	【Reflection】 8 Reflection ・振り返りシートに自己評価をする。 9 Greetings	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の楽しさや新しい気付き等を発表させる。 ・活動のよかった点を伝える。 ・終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観点に沿って振り返らせ、達成感を味わわせる。 ○次時の課題をもたせる。

7 板書計画

Today's goal

行きたい国と見たいものを紹介しよう！

- Greetings
- Let's Sing
- Review
- Today's Goal
- Small Talk
- Activity
- Let's Read & Write
- Reflection

様々な国旗カード

